

「日本語を教えるための日本語文法」

第3回

「全部売れた」と「売れてしまった」

山田 あき子

<http://yu-yu-jin.com/>

nihongo@yu-yu-jin.com

検討したいこと 「全部売れた」と「売れてしまった」の使い分け

提案したいこと 「動詞-てしまった」は『あるはず』、『行っていないはず』を前提としていること

第3回は[動詞-てしまった]いわゆる完了の用法を取り上げます。

[動詞-てしまった]はある行為を完全に終了することと分析されます。しかし、これだけで学習者にわからせられるかどうかと疑問を持ちます。学習者にわかってもらわなければならないことは、「全部売れました」の「動詞-た」の表現方法と「売れてしまいました」の「動詞-てしまいました」の表現方法との違いです。

次の対話例1、2を見てみましょう。

対話例1 店主：ワゴンセールのスーターどう？

店員： 全部売れました。

*売れてしまいました。

対話例2 客：ワゴンセールのスーターが見たいんですが。

店員： { *申し訳ございません。全部売れました。

申し訳ございません。売れてしまいました。

対話例1では「全部売れました」が適切ですし、対話例2では「売れてしまいました」が適切なのではないでしょうか。「動詞-た」と「動詞-てしまいました」は用法が異なることがわかります。すなわち、対話例1、2を引き合いに出すなら、販売終了ということを語るときに何らかの選択規則に準拠して選ばれていることを意味します。

もう1例、見ておきましょう。

対話例3 教師： 日本語、上手になりましたね。

学生： *ええ、教科書を勉強してしまいましたから。

実際に体験した話ですが、ここでは「動詞-てしまった」の使用は誤りです。教科書を全部勉強したということと言いたかったのだろうと推察されますが、このような文脈では非文法です。「動詞-てしまった」を完全に終了したという意味で使うと覚えてしまったところに原因があります。むしろ、覚えさせてしまったところにといふべきかもしれません。

それでは「動詞-てしまった」を使う場合の選択規則がどのようなものを検討していきましょう。

対話例4 A：ボーナスが出たから、今晚は豪勢にいきますか。

B：無理だよ。*使いましたから。

無理だよ。使ってしまいましたから。

対話例5 A：年度末ですが、予算の使用状況はどう？

B: { 全て使いました。
*使ってしまいました。

対話例 6 A: 年度末だけど、消耗品でプリンターのインクを買えるかしら。

B: { いいえ、 *消耗品予算は使いましたから。

いいえ、 消耗品予算は使ってしまいましたから。

対話例 7 A: 論文の提出の締め切りは来週の月曜日ですよ。

B: { はい。 もう提出しました。

はい。 *もう提出してしまいました。

A: よかった。

対話例 8 A: 論文、もう一度読ませて。

B: { えっ! *提出しました。

えっ! 提出してしまいました。

このような対話例をみてくると「動詞-てしまった」の使用が文法的なケースは以下のような前提があることがわかります。

対話例 4 ボーナスは全部使い切っていない。ボーナスはまだある。

対話例 6 予算がある。予算が残っている。

対話例 8 行為が行われていない。行為遂行の前である。

このような前提に対して、対話例4ではボーナスはない、対話例6では予算はない、対話例8では行為を遂行したことが伝えられています。

ですから、「動詞-てしまった」は、まだあるはず、まだ行っていないはずのことがもうすでにない、すでに行われたことを伝える場合に選択されるのだと言えるでしょう。

それに対し「動詞-た」が文法的なケースを見てみましょう。対話例5では、残金がまだあることは前途とされておらず、単に予算の使用状況が話題になっているにすぎません。対話例7では、行為を遂行していないことは前提となっておりません。論文の提出日を忘れていないかどうか確認したいことが伝えられているにすぎません。

対話例1、2での「動詞-た」、「動詞-てしまった」の文法性・非文法性を検証しておきましょう。対話例1ではセーターが残っているはずという前提はなく、販売状況について話題にしているだけです。ですから、単に全部売れたこと、完売を伝えればよいこととなります。一方、対話例2では、客はまだセーターがあるはずを前提にして発話しています。ですから、もうないことを伝えるために「動詞-てしまった」が選ばれていると分析することができます。

最後に対話例9で追認しておきたいと思います。

対話例9 A：夏休み以降、上級のクラスに変われますか。

B：どうしてですか。まだ中級の教科書、終わってないじゃない。

A： { 夏休み中に *中級の教科書を勉強しましたから、変わりたいんです。

夏休み中に 中級の教科書は勉強してしまいましたから、変わりたいんです。

勉強してしまいましたが適切ですが、ここでも教師から「まだ勉強する課があること」が伝えられ、それが前提になっているからです。

「動詞-てしまった」の用法は、あるはず、あるいは、まだ行っていないはずを前提とした物や行為が、すでにない・すでに行われたことを伝える表現方法だと言えます。

指導について

クラスの学生と共有できる「まだ残っていていい物でもない物」あるいは「まだ遂行していなくていい行為ですでに遂行した行為」があるかを探るところから授業の準備は始まります。

実はなかなか探し当てるのが難しいのですが、日本語研究会で探してみたいと思っています。